

令和5年度佐賀県立九州陶磁文化館協議会 会議資料

日 時 令和5年8月3日(木) 13時30分～
場 所 佐賀県立九州陶磁文化館 会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 館長挨拶

3 議 題

(1) 委員長、副委員長の選出について

(2) 九州陶磁文化館の運営について

① 令和4年度事業実績について

② 令和5年度事業計画について

(3) その他

4 閉 会

[資料目次]

① 佐賀県立九州陶磁文化館協議会条例・施行規則等	-----	2
② 佐賀県立九州陶磁文化館協議会委員名簿	-----	5
③ 九州陶磁文化館職員事務分掌	-----	6
④ 九州陶磁文化館の基本方針	-----	7
⑤ 令和4年度事業実績	-----	8
⑥ 令和5年度事業計画	-----	14
⑦ 入館者の推移等	-----	17

佐賀県立九州陶磁文化館協議会条例

(昭和60年3月27日佐賀県条例第9号)

最終改正：令和2年3月23日佐賀県条例第6号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条の規定に基づき、佐賀県立九州陶磁文化館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者であることとする。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、14人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補則)

第5条 この条例の施行に関し必要な事項は、知事が別に定める。

附 則 (略)

佐賀県立九州陶磁文化館協議会条例施行規則

(令和2年3月31日佐賀県規則第26号)

(会議)

第1条 佐賀県立九州陶磁文化館協議会(以下「協議会」という。)の会議は、必要に応じて招集する。

(会議の招集)

第2条 会議の招集は、博物館法(昭和26年法律第285号)第4条の館長が行う。

(委員長及び副委員長)

第3条 協議会は、委員の中から委員長及び副委員長1人を選挙しなければならない。

2 委員長は、会議を主宰する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

附 則 (略)

[参考]

博物館法（昭和26年12月1日法律第285号）

最終改正：令和4年4月15日法律第24号

第3章 公立博物館

（博物館協議会）

第23条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第24条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条第1項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあつては、当該地方公共団体の長）が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第25条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

博物館法施行規則（昭和30年10月4日文部省令第24号）

最終改正：令和5年2月10日文部科学省令第2号

第4章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準

第22条 法第25条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく

事務の所管に関する条例

(平成 20 年 3 月 24 日佐賀県条例第 12 号)

最終改正：令和 2 年 3 月 23 日佐賀県条例第 6 号

- 1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。)第 23 条第 1 項の規定に基づき、次の各号に掲げる教育に関する事務については、知事が管理し、及び執行することとする。
 - (1) 法第 23 条第 1 項第 1 号に規定する特定社会教育機関(以下「特定社会教育機関」という。)の設置、管理及び廃止に関すること(法第 21 条第 7 号から第 9 号まで及び第 12 号に掲げる事務のうち、特定社会教育機関のみに係るものを含む。)
 - (2) スポーツに関すること(学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 1 条に規定する学校における体育に関するものを除く。)
 - (3) 文化に関すること(次号に掲げるものを除く。)
 - (4) 文化財の保護に関すること。

- 2 特定社会教育機関は、次に掲げる機関とする。
 - (1) 佐賀県立図書館
 - (2) 佐賀県立博物館
 - (3) 佐賀県立九州陶磁文化館
 - (4) 佐賀県立美術館
 - (5) 佐賀県立名護屋城博物館
 - (6) 佐賀県立佐賀城本丸歴史館

附 則 (略)

佐賀県立九州陶磁文化館協議会委員名簿

令和5年6月23日現在

区分	任 期 令和5年6月23日～令和7年6月22日			
	委 員 名	役 職 等	住 所	備 考
学 識 経 験 者	あおき ひろふみ 青木 宏文	佐賀新聞伊万里・有田支局長	伊万里市	
	いまいづみ いまえもん 今 泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長	有 田 町	
	かもち ももこ 蒲地 桃子	有田商工会議所副会頭	有 田 町	
	こばやし ともみ 小 林 知美	筑紫女学園大学准教授	太宰府市	
	さかいだ かきえもん 酒井田 柿右衛門	柿右衛門製陶技術保存会会長	有 田 町	
	とみた さき 富田 紗貴	有田町地域おこし協力隊（公募委員）	有 田 町	
	なかざと たろうえもん 中 里 太郎右衛門	佐賀県陶芸協会副会長	唐 津 市	
	ふるかわ そうり 古川 宗里	茶道裏千家淡交会佐賀支部幹事長	伊万里市	
	まつお よしあき 松尾 佳昭	有田町長	有 田 町	
	むとう あけみ 武藤 明美	佐賀県議会議員	佐 賀 市	
むらかみ のぶゆき 村上 伸之	有田町歴史民俗資料館館長	有 田 町		
学校 教育	ふじた そのこ 藤田 莊子	西有田中学校教諭	伊万里市	
社会 教育	ふるかわ ともこ 古川 朋子	有田町婦人会会員	有 田 町	
家庭 教育	まつお あずさ 松尾 あずさ	有田中学校PTA母親部長	有 田 町	

※ 委員名簿は区分内の五十音順

九州陶磁文化館職員事務分掌

令和5年4月1日現在

課・担当・職名	氏 名	事 務 分 掌	
館長（会計年度任用職員）	鈴 田 由紀夫	館の代表	
名誉顧問（非常勤職員）	大 橋 康 二	館運営の専門的見地からの助言	
統括副館長	加 藤 英 治	館の総括	
シニア・アドバイザー・フェロー （会計年度任用職員）	徳 永 貞 紹	調査・研究、展示・普及等に係る助言、支援及び学芸員の育成。海外美術館等との交流による国際化推進のマネジメント	
企 画 総 務 課	企画総務課長	福 田 直 美	課の総括
	係長	大久保 清 人	係の総括、企画・広報、予算・決算、特別企画展等関連イベント
	主査	久保田 正 久	広報、予算執行（報酬・賃金、備品等）、施設・財産管理（使用許可、植栽管理、備品）
	主事	野 田 有 佐	予算執行（庁舎維持管理等）、職員給与、施設・財産管理（使用許可、植栽管理、備品を除く）
	会計年度任用職員	前 田 千 賀	普及啓発事務、図録グッズ販売管理、予算執行（共通経費等）
	会計年度任用職員	仲 出 川 愛	受付事務、入館者統計等
	会計年度任用職員	朝 長 幸 子	〃
	会計年度任用職員	杉 原 由美子	〃
	会計年度任用職員	山 口 佐 知	〃
学 芸 課	学芸課長 （学芸課係長事務取扱）	藤 原 友 子	課の総括、資料調査・研究・収集・管理、普及・展示（特別企画展等）
	主査	芳 野 貴 典	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示（特別企画展等）
	主査	宮 木 貴 史	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示（特別企画展等）
	主事	巖 由季子	資料調査・研究・収集・管理、普及・展示（特別企画展等）
	会計年度任用職員	川内野 啓 子	館内案内（英語対応等）業務、展示説明英語表記等
	会計年度任用職員	前 田 小百合	館内案内業務、展示補助

九州陶磁文化館の基本方針

本館は、陶磁器専門の広域文化施設として、九州全域の陶磁資料を中心に、古代から現代にわたって、歴史的・体系的に収集・保存・展示するとともに、調査研究・教育普及活動を行うことにより、文化遺産の保存と、陶芸文化の発展に寄与するため、活発な館運営を行うものとする。

事 項	主 要 事 業
1 資料の整備充実	1 資料の購入や寄贈資料の受入れによる収集の促進 2 文献図書等の収集整備 3 陶磁片等陶磁関係資料の収集整備
2 展示活動	1 常設展の整備充実 2 企画展の開催 3 次年度企画展の計画・調査
3 調査研究・教育普及活動	1 資料・文献の調査収集に努め、交流等を通じて研究の進展を図る。 2 展示案内や陶芸実習室の提供等により、陶芸文化に対する理解を深める。

令和4年度事業実績

《資料整備》

令和4年度は寄贈資料 159 件 179 点を収集し、館蔵資料は総計 15,459 件 29,133 点となった。

《展示活動》

常設展

展 示 名	内 容
有田焼の歴史 (第1展示室)	令和4年4月9日にリニューアルオープン。有田焼の名品を映像や空間と組み合わせて展示し、歴史や文化などのテーマごとに部屋を巡りながら有田焼の背景に広がる多彩なストーリーを紹介。また、江戸時代に海外輸出された有田磁器の蒲原コレクション約100点の展示は圧巻
柴田夫妻コレクション (第2展示室)	柴田夫妻から寄贈された1万点を超える江戸時代の有田磁器の中から約1,000点を展示
九州の古陶磁 (第3展示室)	唐津焼や初期伊万里、柿右衛門様式、鍋島様式などの名品と九州・沖縄の古陶磁約130点を展示
現代の九州陶芸 (第4展示室)	九州各地を代表する陶芸家の作品約100点を展示。茶陶から前衛まで、さまざまな技法と表現を紹介
展示ホール	九州を代表する日本芸術院会員や重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品を展示

展覧会名	展覧会の概要	備考
第118回 有田国際陶磁展	陶磁器作品の公募展。『美術工芸品・オブジェ部門』、『産業陶磁器部門』（一部）の展示。平成25年（第110回）から全国公募 期間：令和4年4月29日（金・祝）～5月8日（日） 展示作品数：74件	会期 10日 入館者 2,560人 1日平均 256人
リニューアル記念特別企画展 海を渡った古伊万里～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～	戦争により破壊されながらも破棄されずにオーストリア、ウィーン近郊の古城で展示され続けた陶磁器コレクション。日本の修復技術による復元作品も展示し、波乱に富んだロースドルフ城コレクションの全貌を紹介 期間：令和4年5月28日（土）～7月18日（月・祝） 出品数：約180件	会期 45日 入館者 4,249人 1日平均 94人
第43回 九州新工芸展	新工芸会員や公募による陶磁器、染色、竹工、人形などの作品を展示 期間：令和4年7月27日（水）～8月7日（日） 展示作品数：34点	会期 11日 入館者 870人 1日平均 79人
第2回 伊万里・有田焼 伝統工芸士会・佐賀県陶磁器技能士連合会合同作品展	伊万里・有田焼伝統工芸士、佐賀県陶磁器技能士の匠の技が光る作品を展示 期間：令和4年8月11日（木・祝）～8月21日（日） 展示作品数：約150点	会期 10日 入館者 931人 1日平均 93人
第31回 陶千坊展	土とあそぶ陶芸仲間による作品を展示 期間：令和4年8月23日（火）～8月28日（日） 展示作品数：441点	会期 6日 入館者 521人 1日平均 87人
特別企画展 日本工芸会陶芸部会50周年記念 未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ	日本伝統工芸を牽引する日本工芸会陶芸部会の設立50周年を記念した展覧会。重要無形文化財保持者（いわゆる人間国宝）をはじめ近現代作家137名の陶芸作品を一堂に展示 期間：令和4年9月23日（金・祝）～12月4日（日） 出品数：139点	会期 63日 入館者 4,266人 1日平均 67人

展覧会名	展覧会の概要	備考
「工芸考写」展	陶芸家 西隆行、辻拓真と写真家 中島伸一郎による美術家集団「工芸考写」による作品展 期間：令和4年12月20日(火)～12月25日(日) 展示作品数：38作品	会期 6日 入館者 354人 1日平均 59人
第54回 有田工業高等学校卒業制作展	佐賀県立有田工業高等学校生徒の卒業制作作品展。 セラミック科、デザイン科、電気科、機械科、定時制、聴講生の力作を展示 期間：令和5年1月17日(火)～1月22日(日) 展示作品数：生徒161名による約200点	会期 6日 入館者 1,717人 1日平均 286人
第4回 九陶陶芸教室OB有志展	九州陶磁文化館の陶芸教室OB有志による作品展 期間：令和5年2月7日(火)～2月12日(日) 展示作品数：280点	会期 6日 入館者 703人 1日平均 117人
第33回 九州陶磁器デザイナー協会展	九州陶磁器デザイナー協会（通称DAKTダクト） 会員による作品を展示 期間：令和5年2月21日(火)～2月26日(日) 展示作品数：296点	会期 6日 入館者 780人 1日平均 130人
第38回 有田陶交会展	有田の窯元と佐賀大学有田キャンパスの学生による意欲的な作品を展示 期間：令和5年3月7日(火)～3月12日(日) 展示作品数：22件	会期 6日 入館者 692人 1日平均 115人

《教育普及活動・調査研究活動》

事業名	事業の概要
展示案内	企画展等の展示解説のほか、随時、来館者の希望に応じて展示案内を行った。 回数：146回 人数：3,327人
講演等	タイのバンコク国立博物館での講演（9月、12月の2回）のほか、田代中学校（鳥栖市）、有田中学校、武雄青陵中学校、ゆめさが大学等における出前講座等、肥前や九州の陶磁文化に対する外部依頼の講演、講義等を行った。
印刷物の刊行等	◆ 館報「セラミック九州」59号 令和5年度の企画展「なんて書いてあると？—お皿の裏話—」の紹介。 令和4年度の特別企画展「海を渡った古伊万里～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～」、「未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ」の報告等を掲載

	<p>◆ 研究紀要第8号 アンティークとしての肥前陶磁の姿を研究した論考など、学芸員の調査研究の成果を掲載。WEBでも公開</p> <p>◆ 「常設展示ガイドブック 有田焼の歴史 ～磁器が語る 奇跡のストーリー～」 令和4年4月にリニューアルオープンした第1展示室「有田焼の歴史」の展示内容を解説したガイドブック</p>
依頼資料調査	本館（来館）での依頼調査28回（144件）、写真等での依頼調査57回（428件）の調査を行った。
その他普及活動	印刷物・TV等への資料写真使用や閲覧等の対応、資料貸出、九州の陶磁文化に対する原稿執筆等の普及活動を行った。
調査研究活動	全国各地に残された九州陶磁資料の基礎調査を実施し、その持つ意味を明らかにすることで新たな成果を展示や教育普及活動に活用した。 また、長崎県文化財保護審議会等の他機関・団体・研究者の調査研究への協力を行った。
海外博物館・美術館調査等事業	<p>◆ 海外博物館・美術館調査等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ タイ国立中央博物館、ラーチャブリーにおいて在外肥前陶磁の調査を実施。また、タイの研究者・学芸員等と意見交換を行い、交流を深めた。 <p>◆ 科学研究費基礎研究協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ ドレスデン国立博物館 磁器コレクション館所蔵品に関する原稿執筆・情報提供等を行った。

《地域イベント関連事業》

事業名	事業の概要
『笑顔 de さいこうマルシェ in 九州陶磁文化館』	有田国際陶磁展の関連催事として開催。お菓子・雑貨・手芸品など個性あふれる6店舗が出店 期間：令和4年4月29日(金・祝)～5月5日(木) (参考) 期間中入館者： 2,121人
夏休み子供向けイベント	◆ 「夏休みも九陶で遊ぼう」 夏休み期間中、子供連れの家族を対象に各種イベントを実施 内容：オリジナル風鈴を作ろう！ 白いうちわプレゼント！ 折り紙を折ろう！ 期間：令和4年7月21日(木)～8月31日(水)
椿の花の展示	地域の方が育てた椿を館内に展示し、椿をテーマとする作品にスポットを当て紹介 期間：令和4年12月20日(火)～令和5年1月15日(日)
ひなまつりイベント	有田雛のやきものまつりに合わせて、イベントを実施 ◆ 磁器製座り白磁びな七段飾りの展示 期間：令和5年1月31日(火)～3月12日(日) ◆ ひなまつりぬりえ展示 期間：令和5年1月31日(火)～3月5日(日) 内容：有田町内の保育園、認定こども園の年長児の「ひなまつりぬりえ」を展示

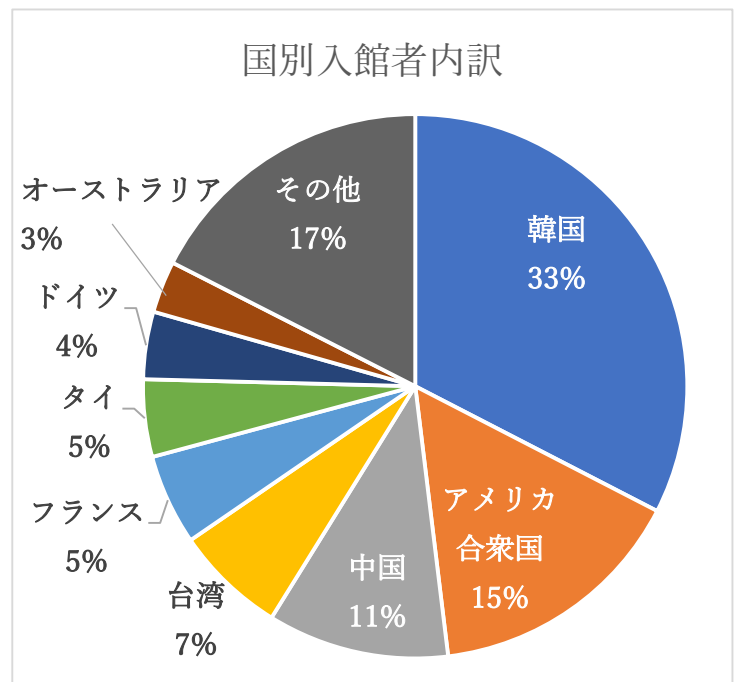
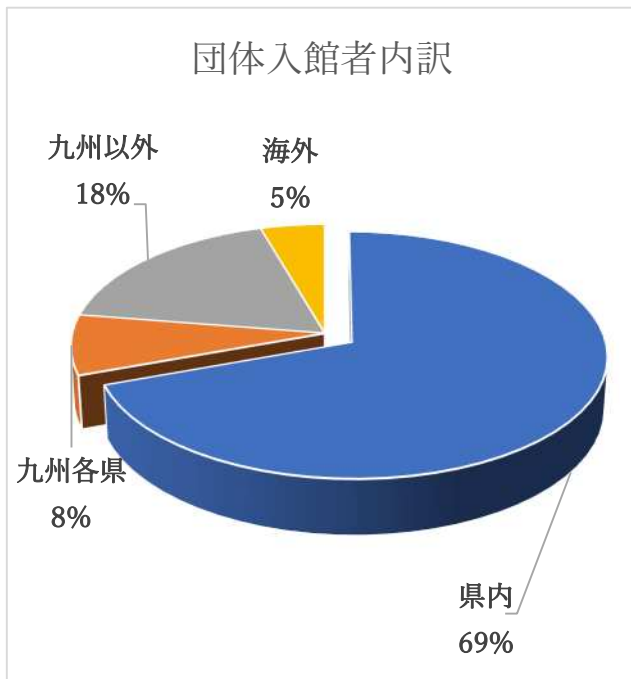
《海外展協力》

事業名	事業の概要
タイ国で開催された展覧会への協力	バンコク国立博物館で開催された展覧会「日本とタイのやきもの交流—貿易と文化交流の永遠の伝説」への協力(館所蔵品の展示等)を行った。 期間：2022年9月14日(水)～12月14日(水)

令和4年度入館者数の状況

(単位：人)

	来館者数	内 訳				
		一日平均	個人客数	団体客数 ()は団体数	団体割合 (%)	外国人 [内数]
4月	2,429	121	2,352	(2) 59	2.4	12
5月	3,773	140	3,538	(5) 191	5.1	26
6月	3,295	127	3,039	(8) 229	6.9	23
7月	3,422	127	3,086	(7) 336	9.8	42
8月	2,276	88	2,231	(1) 45	2.0	44
9月	1,691	68	1,390	(4) 287	17.0	27
10月	3,576	138	2,219	(20) 1,357	37.9	95
11月	3,765	139	2,864	(16) 901	23.9	234
12月	1,897	79	1,747	(4) 153	8.1	215
1月	2,911	121	2,524	(11) 387	13.3	208
2月	2,532	106	2,377	(4) 143	5.6	323
3月	2,975	110	2,758	(8) 205	6.9	479
計	34,542	114	30,125	(90) 4,293	12.4	1,728



令和5年度事業計画

《展示活動》

常設展

展 示 名	内 容
有田焼の歴史 (第1展示室)	有田焼の名品を映像や空間と組み合わせて展示し、歴史や文化などのテーマごとに部屋を巡りながら有田焼の背景に広がる多彩なストーリーを紹介。また、江戸時代に海外輸出された有田磁器の蒲原コレクション約100点の展示は圧巻
柴田夫妻コレクション (第2展示室)	柴田夫妻から寄贈された1万点を超える江戸時代の有田磁器の中から約1,000点を展示 前期：令和5年4月1日(土)～令和6年2月12日(月・振) 後期：令和6年2月23日(金・祝)～3月31日(日)
九州の古陶磁 (第3展示室)	唐津焼や初期伊万里、柿右衛門様式、鍋島様式などの名品と九州・沖縄の古陶磁約130点を展示
現代の九州陶芸 (第4展示室)	九州各地を代表する陶芸家の作品約100点を展示。茶陶から前衛まで、さまざまな技法と表現を紹介 前期：令和5年4月1日(土)～4月16日(日) 令和5年5月16日(火)～9月13日(水) 後期：令和5年12月6日(水)～令和6年3月31日(日)
展示ホール	九州を代表する日本芸術院会員や重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を展示

企画展等

(注) **太字は当館主催行事**

展 覧 会 名	展 覧 会 の 概 要	備 考
第119回 有田国際陶磁展	陶磁器作品の公募展。『美術工芸品・オブジェ部門』、『産業陶磁器部門』(一部)の展示。平成25年(第110回)から全国公募 期間：令和5年4月29日(土・祝)～5月7日(日) 展示作品数：81件	会期 9日 入館者 2,250人 1日平均 250人

展覧会名	展覧会の概要	備考
「新収蔵品展1 古伊万里から現代作まで」	令和2年度から令和4年度に新たに収蔵品となった作品より、ドイツのザクセン選帝侯の旧蔵品として伝わった金襴手様式の皿をはじめとする江戸期から明治期の有田焼、長崎県の三川内焼や熊本県の上村焼、有田国際陶磁展の文部科学大臣賞受賞作品など、近世から現代までの作品を紹介 期間:令和5年5月20日(土)~7月9日(日) 展示作品数:42件51点	会期 44日 入館者 3,734人 1日平均 85人
第44回 九州新工芸展	新工芸会員や公募による陶磁器、染色、竹工、人形などの作品を展示 期間:令和5年7月26日(水)~8月6日(日)	会期 11日
第3回 伊万里・有田焼伝統工芸士会・佐賀県陶磁器技能士連合会合同作品展	伊万里・有田焼伝統工芸士、佐賀県陶磁器技能士の匠の技が光る作品を展示 期間:令和5年8月11日(金・祝)~8月20日(日)	会期 9日
第32回 陶千坊展	土とあそぶ陶芸仲間による作品を展示 期間:令和5年8月22日(火)~8月27日(日)	会期 6日
企画展 「なんて書いてあると? —お皿の裏話—	やきものの裏側(銘とよばれる文字やマーク)に注目し、バラエティーに富んだ銘の世界をわかりやすく紹介 期間:令和5年9月30日(土)~11月26日(日) 展示作品数:約170件	会期 50日
「新収蔵品展2 古唐津とその周辺」	令和4年度に新たに収蔵した古唐津、初期伊万里を中心に紹介する 期間:令和5年12月9日(土)~令和6年1月8日(月・祝)	会期 22日
第55回 有田工業高等学校卒業制作展	佐賀県立有田工業高等学校生徒の卒業制作作品展 期間:令和6年1月16日(火)~1月21日(日)	会期 6日
第34回 九州陶磁器デザイナー協会展	九州陶磁器デザイナー協会展(通称DAKTダクト) 会員による作品を展示 期間:令和6年2月20日(火)~2月25日(日)	会期 6日

展覧会名	展覧会の概要	備考
第39回 陶交会展	有田の窯元と佐賀大学有田キャンパスの学生による意欲的な作品を展示 期間：令和6年3月5日(火)～3月10日(日)	会期 6日

《教育普及活動・調査研究活動》

事業名	事業の概要
展示案内	企画展等の展示解説のほか、随時、来館者の希望に応じて展示案内を行う。
印刷物の刊行等	◆ 館報「セラミック九州」60号 令和4年度の事業内容の報告、令和5年度の事業内容等を掲載 ◆ 研究紀要第9号 学芸員の調査研究の成果を掲載。WEBでも公開予定
その他普及活動	出前講座の実施、県内学校事業における展示説明、持込み資料・送付写真資料等の調査、広報用作品解説、博物館実習受入、印刷物・TV等への資料写真使用や閲覧等の対応、資料貸出し、外部依頼の講演や原稿執筆等の普及活動を行う。
調査研究活動	全国各地に残された九州陶磁資料の基礎調査を実施し、その持つ意味を明らかにすることで新たな成果を展示や教育普及活動に活用する。
海外博物館・美術館調査等事業	海外博物館・美術館調査事業等 ・韓国の博物館 令和5年9月～令和6年3月頃(予定)

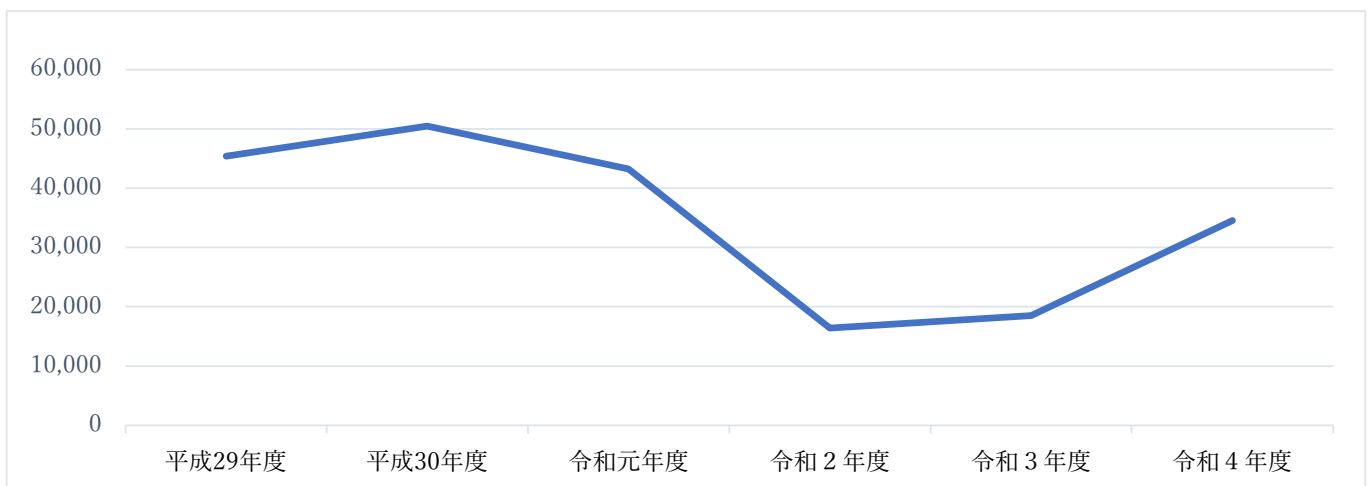
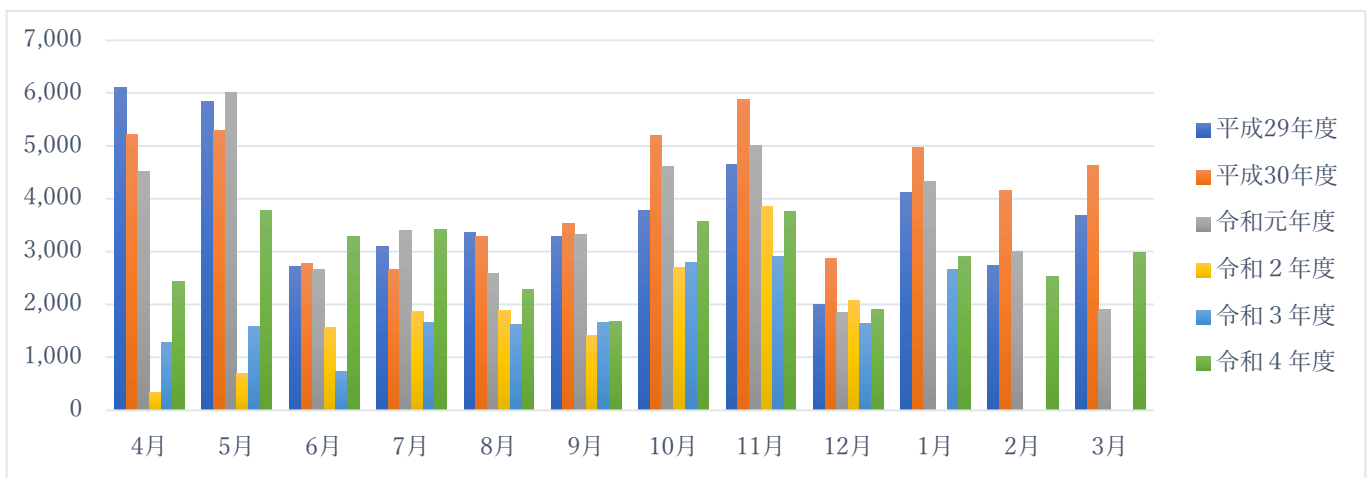
《地域イベント関連事業》

事業名	事業の概要
『笑顔 de さいこうマルシェ in 九州陶磁文化館』	有田国際陶磁展の関連催事として開催。様々な個性あふれる7店舗が出店 期間：令和5年4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝) (参考) 期間中入館者： 1,931人
夏休み子供向けイベント	夏休み期間中、子供連れの家族を対象に各種イベントを開催 ○イベント内容 ・オリジナル風鈴を作ろう・九陶館内探検とはしおきづくり ・文様スタンプで遊ぼう・九陶の蝶々に隠されたなぞを解け！ ・白いうちわに絵を描こう 期間：令和5年7月21日(金)～8月31日(木)
ひなまつりイベント	有田雛のやきものまつりに合わせて、イベントを実施予定 期間：令和6年2月上旬～3月中旬

入館者の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
4 月	6,100	5,219	4,515	345	1,278	2,429
5 月	5,848	5,285	6,006	703	1,583	3,773
6 月	2,722	2,773	2,667	1,574	727	3,295
7 月	3,108	2,668	3,405	1,863	1,671	3,422
8 月	3,359	3,289	2,595	1,882	1,627	2,276
9 月	3,280	3,527	3,314	1,417	1,663	1,691
10 月	3,780	5,204	4,619	2,695	2,790	3,576
11 月	4,651	5,876	5,008	3,857	2,905	3,765
12 月	2,005	2,863	1,856	2,080	1,632	1,897
1 月	4,121	4,976	4,331	0	2,656	2,911
2 月	2,744	4,155	3,010	0	0	2,532
3 月	3,678	4,639	1,905	0	0	2,975
計	45,396	50,474	43,231	16,416	18,532	34,542

(単位：人)



	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
外国人 入館者	5,447 人	5,448 人	4,881 人	132 人	81 人	1,728 人
	韓国 2,382	韓国 2,082	韓国 1,045	台湾 48	米国 26	韓国 563
	中国 1,068	中国 1,147	中国 1,329	米国 35	中国 12	米国 267
	台湾 402	米国 414	米国 446	韓国 7	フランス 7	中国 186
	他 1,595	他 1,805	他 2,061	他 42	他 36	他 712

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
団 体	160 団体	163 団体	131 団体	31 団体	49 団体	90 団体
入館者数	7,031 人	7,055 人	6,359 人	1,787 人	2,682 人	4,293 人

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
小中学 校・ 高校の 学校行事 観覧 入館者数	小学校 10 校	小学校 7 校	小学校 7 校	小学校 14 校	小学校 20 校	小学校 13 校
	723 人	579 人	681 人	1,073 人	1,304 人	934 人
	中学校 3 校	中学校 0 校	中学校 4 校	中学校 3 校	中学校 5 校	中学校 3 校
	286 人	0 人	205 人	227 人	448 人	137 人
	高校 11 校	高校 15 校	高校 18 校	高校 6 校	高校 12 校	高校 10 校
789 人	875 人	1,630 人	272 人	493 人	1,050 人	
計 24 校	計 22 校	計 29 校	計 23 校	計 37 校	計 26 校	
1,798 人	1,454 人	2,516 人	1,572 人	2,245 人	2,121 人	

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
特 別 企画展	熊本のやきもの - 近代から現代まで、火の国の陶磁文化 - (10/6~11/26)	人間国宝 中島宏氏 寄贈 古武雄 - ふるさと大地の記憶 - (10/6~11/25)	特別企画 [有田×野老] 展 (9/20~11/24) (主催: 実行委員会 (九州陶磁文化館・西日本新聞社))	開館 40 周年・寄贈記念 高取家コレクション (5/23~7/12) 柴澤コレクション (10/16~12/13)	開催無し	海を渡った古伊万里~ウィーン、ロースドルフ城の悲劇~ (5/28~7/18) 日本工芸会陶芸部 50 周年記念 未来へつなぐ陶芸 - 伝統工芸のチカラ (9/23~12/4)